

販売5.6%増の90.9億円 乳量、前年上回る J Aあしよろ

2020年4月26日

【足寄】J Aあしよろ（新津賀庸組合長、組合員226人）の第73回通常総会が22日、町民センターで開かれた。2019年度の農畜産総販売額は、前年度比5.6%増の90億9,592万円。夏季の極端な高温による影響はあったものの畑作全般としては豊作基調で、酪農では前年の乳量を上回った。

このうち農産部門は7.6%増の14億942万円。小麦が開花期の曇天と収穫期の高温により地区によって収量格差が大きかった。豆類は平年作にとどまったものの、秋作物は全体的に平年以上の収量を確保した。酪農畜産部門は5.2%増の76億8,650万円。個体販売価格は値下げ傾向ではあるものの高値で推移しており、安定して収入を確保した。いずれも組合勘定の精算状況を見ると増収とな

った。

当期末未処分利益剰余金は6,067万円、組合員配当は2,300万円を計上した。

総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策で新津組合長ら役員11人と議長のみが出席。組合員らは書面によって議決した。冒頭に新津組合長があいさつした。

取扱高 過去最高69億円 生乳生産6万トン突破 J A忠類

2020年4月30日

【幕別】J A忠類（蛭原一治組合長、正組合員120人）の第72回通常総会が28日、同J Aで開かれた。2019年度の農畜産物取扱高は前年比7.9%増の69億700万円と同J A史上最高額を更新した。

総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面議決とし、蛭原組合長ら役員のみが出席した。

生乳生産量は計画比1.4%増の6万476トンで、15年度の5万トン達成から4年での大台突破に。乳価の値上げもあり、生乳生産額は前年比6.3%増の57億2,100万円。農産物はおおむね天候に恵まれ、前年比15.2%増の6億2,000万円と過去最高に。畜産は同17.7%増の5億6,500

万円となった。当期剰余金は1億282万円。

今年度から5カ年の第8次中期総合計画を承認。同計画では「地域農業を支える担い手の育成と確保の促進」「労働力支援体制の確立」など五つの柱を掲げる。

蛭原組合長は「第8次計画に基づき、次世代につなげる持続可能な農業の実現に向け、一步一步着実に実践していく」とあいさつした。

取扱高4.4%増の157億円 小麦51%増の伸び J A帯広大正

2020年5月16日

J A帯広大正（吉田伸行組合長、正組合員460人）は15日、帯広市内の同J Aで通常総会を開いた。2019年度の取扱高は157億2,300万円（経営所得安定対策交付金含む）で、前年度比4.4%増となった。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面議決を中心に開催した。

19年度の品目別取扱高は、ジャガイモが0.9%減の37億8,400万円。ダイコン、ナガイモなどの野菜は価格全体の安値を受けて8.8%減の33億5,300万円だった。小麦は51.4%増の11億1,300万円と大きく伸びた。当期剰余

金は5.9%増の3億2,588万円だった。

20年度は農畜産物のブランド化・新商品開発などを担う企画課や金融・共済事業を担う信用部などを創設し、経営基盤の強化を図る。吉田組合長は「今後も役職員一同、一丸となって目標に向かって進みたい」とあいさつした。